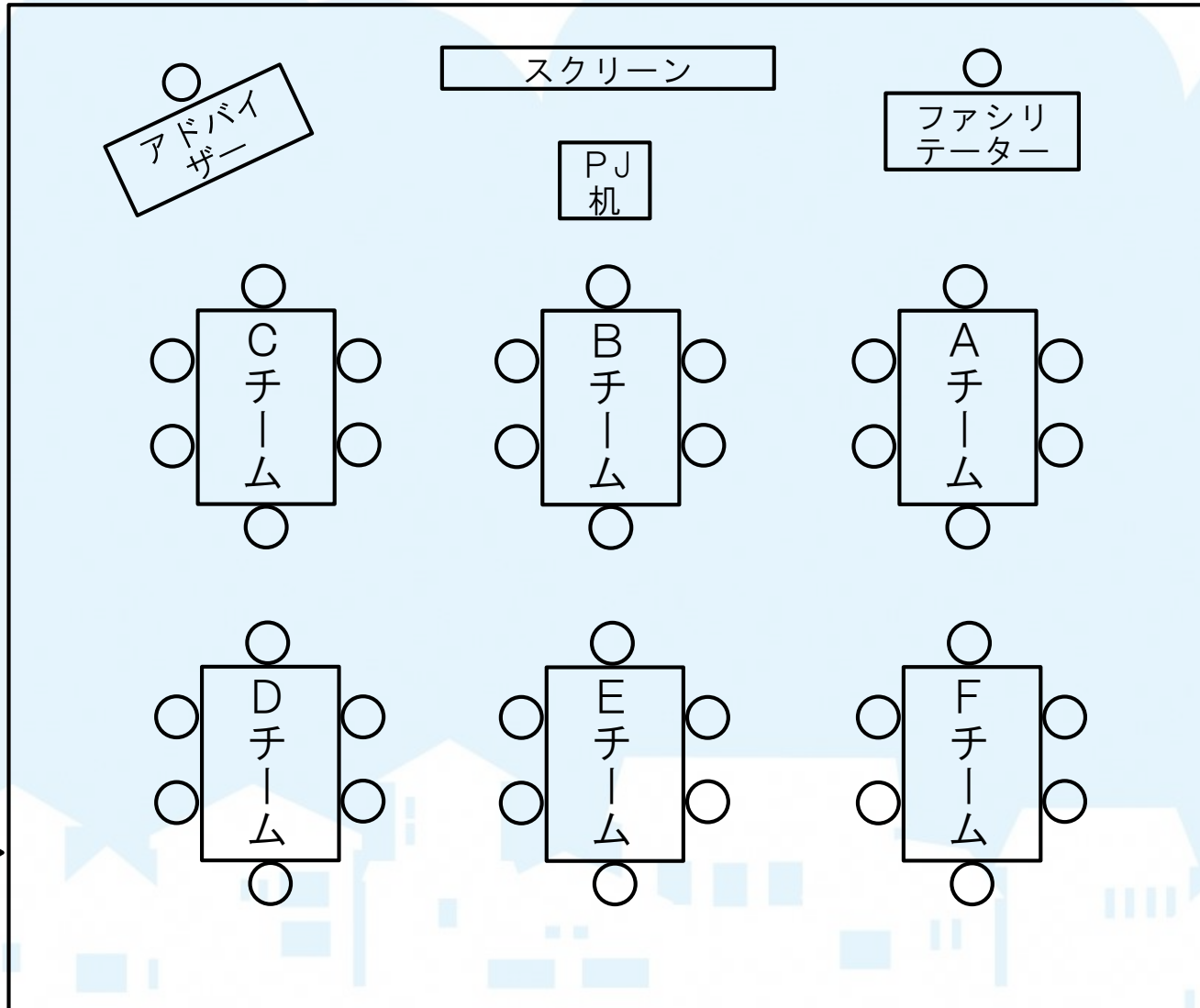
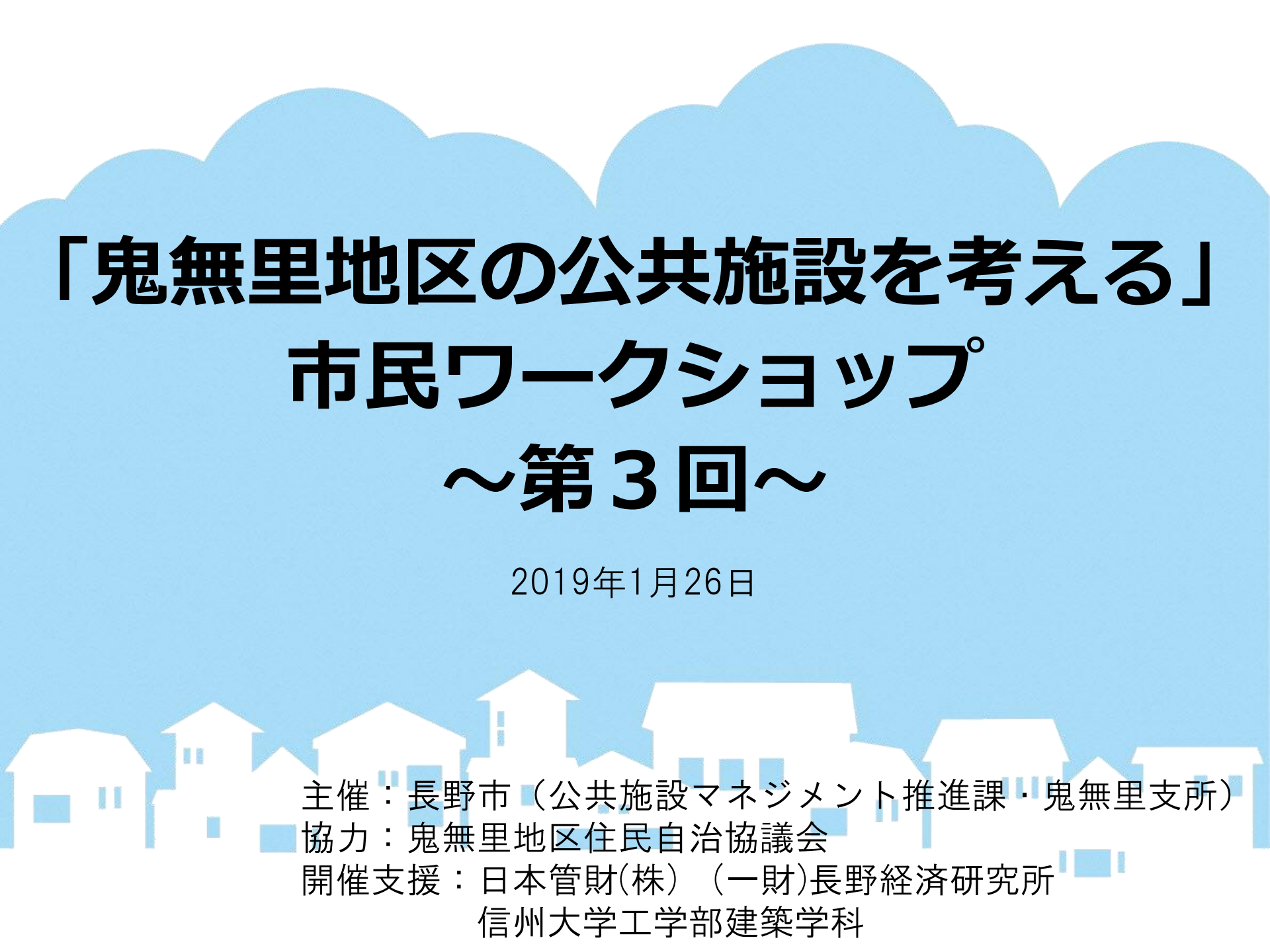


会場案内図

鬼無里活性化センター 2階会議室





「鬼無里地区の公共施設を考える」 市民ワークショップ ～第3回～

2019年1月26日

主催：長野市（公共施設マネジメント推進課・鬼無里支所）

協力：鬼無里地区住民自治協議会

開催支援：日本管財(株)（一財）長野経済研究所
信州大学工学部建築学科

ワークショップ全体の流れ

	時 間	内 容	場 所
第1回 ワークショップ	11月17日（土） 9：30～12：00	グループワーク 将来どんな地区にしていきたいかを考える	鬼無里活性化 センター 2階会議室
第2回 ワークショップ	12月15日（土） 14：00～16：00	グループワーク グループごとに課題を決めてその解決方法を考える	鬼無里活性化 センター 2階会議室
第3回 ワークショップ	1月26日（土） 9：30～12：00	グループワーク 鬼無里の公共施設の将来像を考える	鬼無里活性化 センター 2階会議室

ワークショップの進めかた

市の公共施設の現状・課題
を知る。

どんな施設がどこにあるのか、老朽具合など

どんな地域にしていきたいか
考える。

(自分たちでしたいこと、できることは何か)

まちづくり
活性化

施設の
老朽化

地域特性
課題

コンパクト
シティ

将来の鬼無里地区にとって、どんな活動・機能が
必要か？
皆さんで議論しながら考えましょう

複合化
多機能化

人口減少
少子高齢化

受益者と
納税者

人口減少時代にあっても住みやすい
「地域の公共施設の将来像」を考える。

今日のスケジュール

時間	内容	詳細
09 : 30—09 : 45	公共施設マネジメントの おさらいと、新しい視点	<ul style="list-style-type: none">・いま起きている公共施設の状況（おさらい）・公共施設のかしこい見直し方
09 : 45—11 : 15	グループワーク	<ul style="list-style-type: none">・前回のグループワークの振り返り・前回の意見を集約し、課題を絞り込む・課題の解決策を議論する
11 : 15—11 : 40	各グループからの発表	1グループ4分以内で発表
11 : 40—11 : 55	講評・あいさつ	佐倉先生（信州大学）からの講評 住民自治協議会・主催者からのあいさつ
11 : 55—12 : 00	アンケート記入・記念撮影	

いま起きている公共施設の状況（おさらい）

✓ 施設が古くなってきている



✓ 人口減少・少子高齢化が進んでいる



✓ 人口減少なのに、
施設が多いまま



将来のシナリオ

こうすると...

建物は簡単には壊れないから、
とそのままにしておく。



こうなる...

知らない間に建物が古くなり、
危険なまちに。



今までどおり、すべての建物を建
て替える。



市の財源の多くを建物の建替えに
使ってしまい、他のサービスが低
下してしまう。



計画的に保全せず、その場しのぎ
の対応をしていく。



施設はたくさんあるけど、使って
いない施設・部屋があるような？
今のニーズに合わない。

空室

使用中

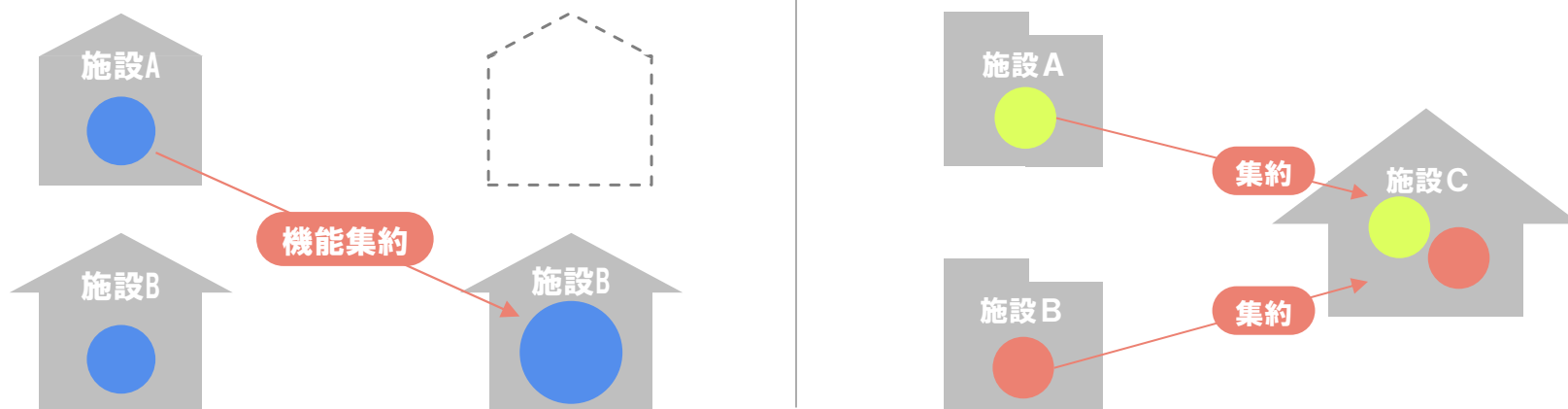
公共施設のかしこい見直し方とは？ (より具体的に掘り下げてみる)

以下はファシリテーター個人の見解を含んでいます。



公共施設のかしこい見直し方

集約化する・複合化する



複合化・集約化すると、いろいろなメリットが...

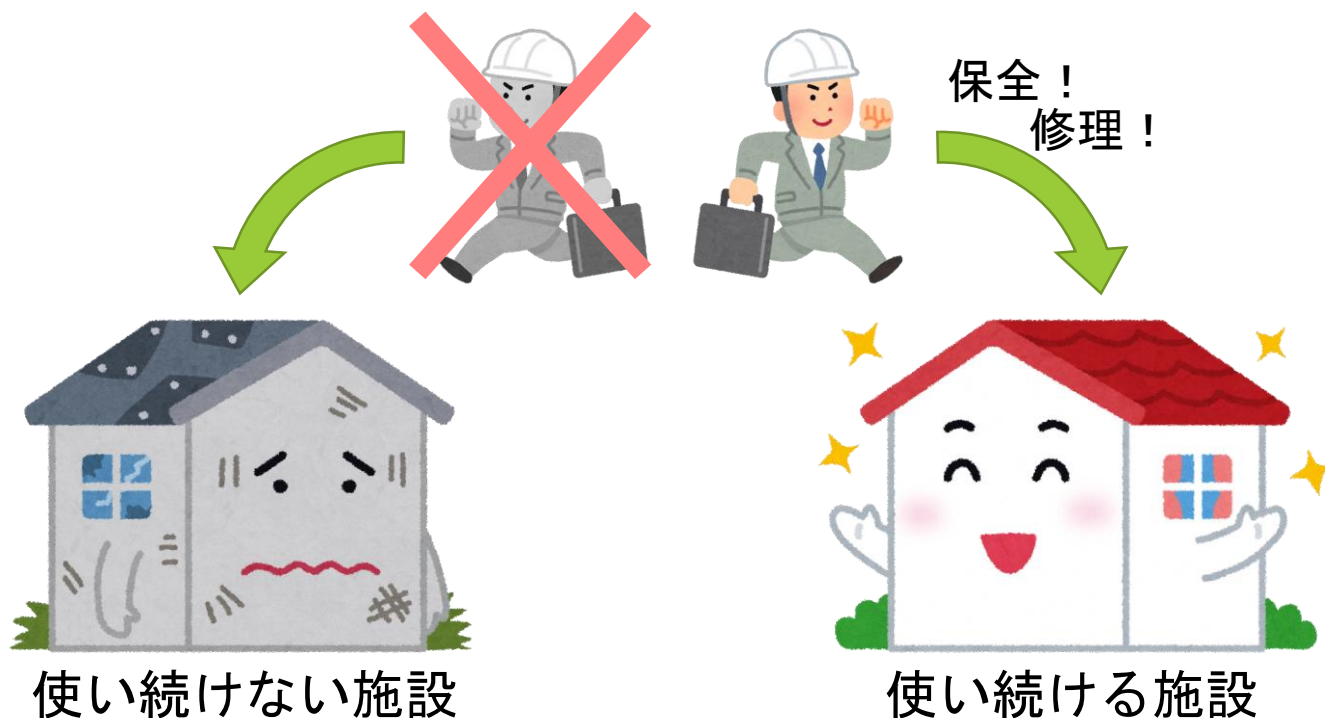
「人が集まることによる活性化」「移動時間短縮」

「多世代交流」「人員配置の効率化」

「共用部分の削減（エントランス、廊下、トイレ）」などなど

公共施設のかしこい見直し方

使い続ける施設を選ぶ

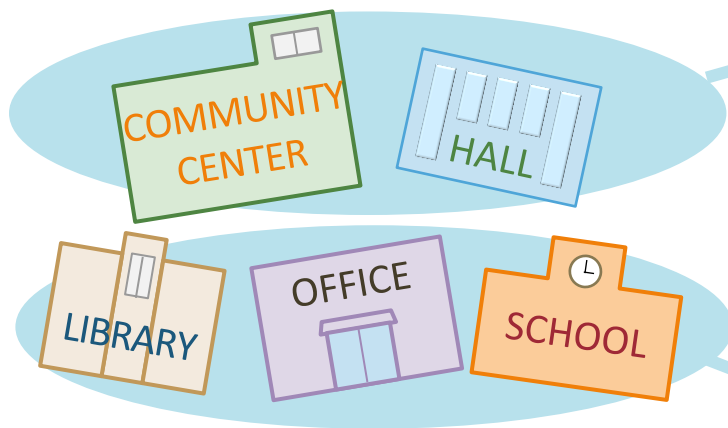


施設を選んで、使い続ける施設はしっかり管理

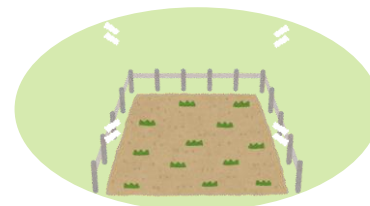
公共施設のかしこい見直し方

新たな財源を確保する

経費の節減だけではなく...



施設で稼ぐ仕組み
を作り財源を生み出す



使っていない施設・土地
を売却して財源を生み出す

公共施設のかしこい見直し方

限られた財源を上手に使う



医療の充実



限られた財源



観光振興



子育て支援

限られた財源を「必要なところ」、
「重要なところ」へ使う。
施設の充実に財源を割く？
サービスの充実に財源を割く？



今日のグループワーク

グループごとに
鬼無里の
公共施設の将来像を考える

全グループ共通事項

① 前回の結果を参考に公共施設の将来像を考える
ふせん1つに1つの意見、自分の意見をできるだけ多く書き出す

② 提案の概要と「効果」「課題」を考える

今後、具体的に検討を進めたいこと。最大3つまで。

効果＝この提案によって良くなること。メリット。

課題＝この提案で逆に不便になること。今後に残る課題。

③ 「自分たちにできること」を考える

模造紙イメージ

鬼無里地区第3回

Fグループ

テーマ：「鬼無里の暮らし（食・農・自然・人）をお手軽に！」

提案の概要：

- ・体験プログラム（田植え・森あそび・雪かき道場）

自分たちができること：

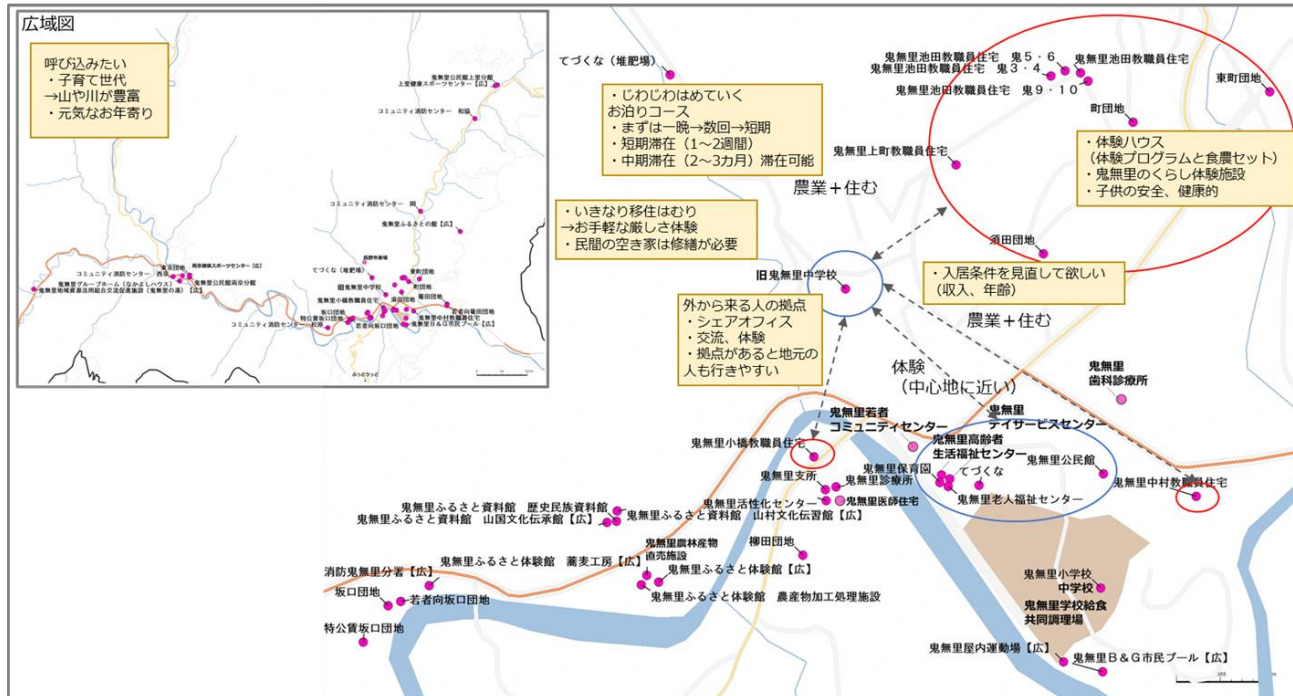
- ・様々なイベントでは住民が先生となって観光客に教える。

効果：

- ・イベント等を通じた・・・
- ・交流人口増加
- ・移住促進
- ・雇用の場

課題：

- ・情報発信
- ・協賛メンバー
- ・受入体制



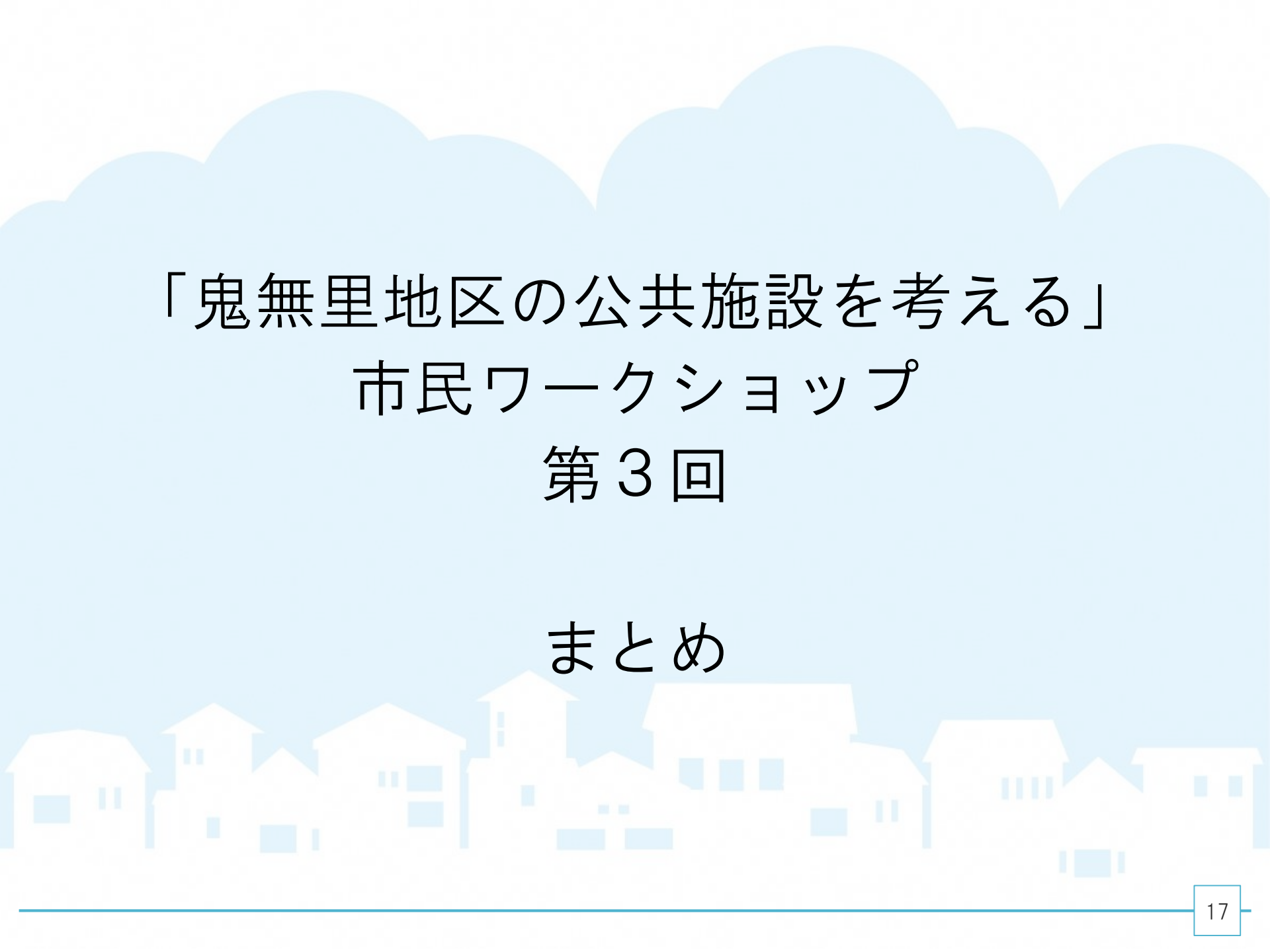
※上記は前回のFグループの提案を参考にしたものです。記入例としてご覧ください。

ワークショップでの約束

1. 思いついたらすぐ発言しよう
2. 他人のアイデアを否定しない
3. みんなで振り返る時間を大切にしよう
4. 自由な発想でアイデアを考えよう

グループワークの結果発表

- ① 1グループ4分以内で発表
- ② どのような将来像になりましたか？
- ③ 効果や課題はどのようなものですか？
- ④ 自分たちに出来ることは何ですか？



「鬼無里地区の公共施設を考える」
市民ワークショップ
第3回

まとめ

